

第 2 回庁外委員会での意見に対する回答（追加）

当日の意見	回答及び対応方針
<p>○老人福祉センターの浴室利用者はどのくらいあるのか。</p>	<p>➤平成 29 年度集計で一日あたり約 50 人の利用があります。</p> <p>浴室の開放については、利用者の減少に対応するため、近年日数を減らしているところです。</p>
<p>○個人的に他町がどのように空き教室を利用した事例があるか調べてみたが、志免町ではゆずの木学園と連携し、大野城市にあるフードバンクという団体に協力してもらい空き教室で子ども食堂をやっている。計画の中で困窮している子どもたちに対する活動を進めていく方向性があればいいと思う。勤労者体育センター入口付近のフロアと事務室の使い方で中学生向けの食堂があればと思う。</p>	<p>➤本計画は、公共施設に係る更新費用を削減し、将来に渡り施設を健全な状態で利活用することを目的として策定しているところですが、それだけではなく、より積極的に本町の特色を活かすため、小学校の地域拠点化を軸に計画を策定しているところです。</p> <p>小学校の空き教室に関しては、地域拠点化を進めていく計画ですが、公共が担う部分については、地域間格差のない公平性の観点による運用が必要です。その他の運用に関しては、地域や民間が担う部分もあると思われ慎重な検討が必要と考えます。</p>
<p>○新しいスポーツができる施設があればいいと思う。</p>	<p>➤宇美町公共施設等総合管理計画でお示したように、今後 40 年間は新しい機能の施設を新規に整備することは行わないという方針のため、現存する公共施設を上手に使うことが重要になります。</p> <p>本計画では、ハード面から施設の再配置を検討していますが、実際に機能の統合等を検討していく中で、運用の見直しが必要になり、その中で検討していくご意見と思われまます。</p>